

<特別展示品> 日本人形文化研究所 林直輝氏所蔵品



中村信喬作「菊慈童」



丸平大木人形店製「重陽飾り」



大木素十作・有職造花「菊に鶴」



京都法輪寺の茱萸袋



茱萸袋(ぐみぶくろ)

平安時代から宮中で重陽の節句に掛けられた厄除けの袋。赤い袋に茱萸と菊の造花を挿したもので、古代中国の風習に倣っています。(民家園に山茱萸の木があります)

林直輝(はやしなおてる)

「日本人形文化研究所 所長、吉徳資料室客員研究員(元 資料室長)
長年、伝統工芸としての人形や節句行事の調査研究に従事し、日本各地で講演会や美術館・博物館の展覧会監修等を行っている。最近TV「開運!なんでも鑑定団」にも人形鑑定士として出演。
※一般社団法人 日本人形玩具学会理事、日本風俗史学会理事。

<関連展示品>

後の雛(のちのひな)

江戸時代、重陽の節句の時期に虫干しを兼ねて雛人形を飾ることを「後の雛」と言いました。
モノを大切に、長持ちさせる知恵と、長寿の願いが融合した、「大人のひなまつり」です。

長寿を祝う菊酒

中国では漢の時代から菊の霊酒を薬として飲む習慣がありました。当時は菊が不老長寿の薬とされていました。



問い合わせ 横浜市指定管理者
NPO 法人都筑民家園管理運営委員会
TEL 045-594-1723

〒224-0028 横浜市都筑区大柵西2 大塚・歳勝土遺跡公園内
(横浜市営地下鉄センター北駅徒歩10分)

※駐車場はありません

路上駐車を近隣にご迷惑になります。駅周辺の有料駐車場をご利用ください。

